

平成30年定例会
予算決算常任委員会防災県土整備企業分科会
提出資料

○ 議案補充説明

- I 平成30年度当初予算について 1
- ・ 議案第22号「平成30年度三重県水道事業会計予算」
 - ・ 議案第23号「平成30年度三重県工業用水道事業会計予算」
 - ・ 議案第24号「平成30年度三重県電気事業会計予算」
- II 平成29年度2月補正予算について 6
- ・ 議案第5号「平成29年度三重県水道事業会計補正予算（第3号）」
 - ・ 議案第6号「平成29年度三重県工業用水道事業会計補正予算（第3号）」
 - ・ 議案第7号「平成29年度三重県電気事業会計補正予算（第3号）」
- III 平成29年度最終補正予算について 7
- ・ 議案第93号「平成29年度三重県水道事業会計補正予算（第4号）」
 - ・ 議案第94号「平成29年度三重県工業用水道事業会計補正予算（第4号）」
 - ・ 議案第95号「平成29年度三重県電気事業会計補正予算（第4号）」
- IV 「三重県工業用水道条例の一部を改正する条例案」について
. 13
- ・ 議案第60号「三重県工業用水道条例の一部を改正する条例案」

平成30年3月14日

企業庁

I 平成30年度当初予算について

1 予算編成にあたっての基本的な考え方

平成29年3月に策定した「三重県企業庁経営計画（平成29年度～平成38年度）」（以下、「経営計画」という。）は、「みえ県民力ビジョン」を着実に推進していくための企業庁としての実行計画であり、「県民の日常生活や経済活動に欠くことのできない広域的なサービスを提供することで、県民のくらしの安全・安心の確保や地域経済の発展に貢献する」という経営理念を実現するための経営方針や取組をまとめたものです。

平成30年度当初予算については、引き続き、経営計画の取組を的確に進めていくことを基本におき、水道・工業用水道事業では、将来、発生が予想される南海トラフ地震などの大規模地震に備えるとともに、設備の老朽化に対応するため、耐震化や老朽化対策等を着実に実施します。

また、電気事業では、三重ごみ固形燃料発電所の安全・安定な運転を最優先に事業運営を行います。

2 主な重点項目

(1) 強靱な水道及び工業用水道の構築 予算額 10,606,868千円

大規模地震などによる被災を最小限にとどめられるよう、施設の耐震化を実施します。また、将来にわたり水道用水及び工業用水を安定して供給できる状態を維持するため老朽化対策等に取り組み、強靱な水道及び工業用水道の構築をめざします。

① 耐震化 予算額 2,891,185千円

南海トラフ地震などの大規模地震が発生した場合にも被災を最小限にとどめることができるよう主要施設等の耐震化を進めます。

- ・山村浄水場耐震化工事（四日市市）
- ・内径350 耗送水管布設替工事（四日市市） 他

② 老朽化対策 予算額 4,437,194千円

水道用水及び工業用水の安定供給を確保するため、経年劣化した設備の更新などの老朽化対策を進めます。

- ・播磨浄水場中央監視制御設備改良工事（桑名市）
- ・内径800 耗配水管シールド工事（四日市市） 他

③ その他（配水運用の強化など） 予算額 3,278,489千円

漏水発生時等においても安定した供給を確保するため管路の複線化等の改良を行い、配水運用の強化を進めます。

- ・内径1200 配水管シールド工事（四日市市）
- ・加圧ポンプ所築造工事（四日市市） 他

（2）三重ごみ固形燃料発電所の安全・安定運転 予算額 2,351,209千円

RDF製造団体などの関係者と連携し、RDFの品質管理の徹底を図るとともに、RDF焼却・発電施設等の安全・安定な運転を行います。

- ・RDF焼却・発電施設運転等管理業務委託
- ・RDF焼却・発電施設定期点検整備業務 他

3 水道事業会計【議案第22号関係】

(1) 予算額

(単位：千円)

項目	平成29年度	平成30年度	増減	備考(主な増減理由)
収益的収入	9,484,568	9,462,457	△22,111	
営業収益	8,614,044	8,617,390	3,346	その他営業収益の増
営業外収益	870,524	845,067	△25,457	長期前受金戻入の減
収益的支出	9,194,353	9,183,335	△11,018	
営業費用	8,502,580	8,558,506	55,926	資産減耗費の増
営業外費用	689,773	622,829	△66,944	企業債利息の減
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	290,215	279,122	△11,093	
純損益(税抜き)	39,860	33,325	△6,535	
資本的収入	1,030,928	296,888	△734,040	
補助金	47,232	57,934	10,702	他会計補助金の増
出資金	983,696	138,954	△844,742	他会計出資金の減
長期貸付金償還金	—	100,000	100,000	一般会計貸付金償還金の増
資本的支出	6,225,540	6,016,277	△209,263	
建設改良費	3,229,975	3,638,857	408,882	北勢水道改良費の増
償還金	2,995,565	2,377,420	△618,145	企業債償還金の減
資本的収支差	△5,194,612	△5,719,389	△524,777	

※平成29年度予算額は1号補正後予算額

(2) 債務負担行為

(単位：千円)

事項	期間	限度額
機械設備取替工事に係る契約	H30～H31	221,400
電気設備改良工事に係る契約	H30～H31	1,022,436
沈殿池等築造工事に係る契約	H31～H32	2,205,000
浄水場等設備点検工事等に係る契約	H31～H34	992,539
施設設備保全業務委託等に係る契約	H31～H35	8,591
行政事務用機器賃借に係る契約	H31～H35	3,858
原水水質調査業務委託に係る契約	H30～H31	28,080

(3) 主な重点項目

強靱な水道及び工業用水道の構築	予算額 3,586,447千円
①耐震化	1,530,526千円
・内径350 耗送水管布設替工事(四日市市) 他	
②老朽化対策	1,823,134千円
・播磨浄水場中央監視制御設備改良工事(桑名市)	
・播磨浄水場分水電気計装設備取替工事(桑名市) 他	
③その他	232,787千円
・内径200 耗送水管布設替工事(木曾岬町) 他	

4 工業用水道事業会計【議案第23号関係】

(1) 予算額

(単位：千円)

項目	平成29年度	平成30年度	増減	備考(主な増減理由)
収益的収入	6,056,114	6,183,811	127,697	
営業収益	5,568,719	5,627,026	58,307	給水収益の増
営業外収益	487,395	556,785	69,390	受託工事収益の増
収益的支出	5,843,679	5,988,605	144,926	
営業費用	5,517,046	5,553,057	36,011	修繕費の増
営業外費用	324,633	433,548	108,915	受託工事費の増
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	212,435	195,206	△17,229	
純損益(税抜き)	34,983	24,681	△10,302	
資本的収入	3,407,759	4,337,724	929,965	
企業債	3,000,000	3,680,000	680,000	企業債の増
補助金	157,200	334,400	177,200	国庫補助金の増
出資金	221,439	298,364	76,925	他会計出資金の増
負担金	29,120	24,960	△4,160	工事負担金の減
資本的支出	7,305,083	8,518,800	1,213,717	
建設改良費	5,199,677	7,252,894	2,053,217	北伊勢工業用水道改良費の増
償還金	2,105,406	1,265,906	△839,500	企業債償還金の減
資本的収支差	△3,897,324	△4,181,076	△283,752	

※平成29年度予算額は1号補正後予算額

(2) 債務負担行為

(単位：千円)

事項	期間	限度額
配水池築造工事等に係る契約	H31～H32	1,507,680
配水管布設工事等に係る契約	H31	439,520
浄水場等電気機械設備等設置工事に係る契約	H30～H31	889,488
取水所施設解体工事に係る契約	H30～H31	86,400
取水所機械設備等取替工事に係る契約	H31	73,147
浄水場等設備点検工事等に係る契約	H31～H34	65,788
行政事務用機器賃借に係る契約	H31～H35	898
施設設備保全業務委託等に係る契約	H31～H35	6,231

(3) 主な重点項目

強靱な水道及び工業用水道の構築	予算額	7,020,421千円
① 耐震化		1,360,659千円
・山村浄水場耐震化工事(四日市市) 他		
② 老朽化対策		2,614,060千円
・内径800 耗配水管シールド工事(四日市市)		
・内径1000 耗制水弁設置工事(四日市市) 他		
③ その他		3,045,702千円
・内径1200 耗配水管シールド工事(四日市市)		
・加圧ポンプ所築造工事(四日市市) 他		

5 電気事業会計【議案第24号関係】

(1) 予算額

(単位：千円)

項目	平成29年度	平成30年度	増減	備考(主な増減理由)
収益的収入	1,467,053	1,359,543	△107,510	
営業収益	1,422,098	1,315,325	△106,773	電力料収入の減
営業外収益	44,955	44,218	△737	他会計補助金の減
収益的支出	2,600,930	2,649,104	48,174	
営業費用	2,573,064	2,549,941	△23,123	負担金の減
営業外費用	25,866	25,767	△99	借入金利息の減
特別損失	—	71,396	71,396	その他特別損失の増
予備費	2,000	2,000	—	
収益的収支差	△1,133,877	△1,289,561	△155,684	
純損益(税抜き)	△1,053,649	△1,202,186	△148,537	
資本的収入	500,339	—	△500,339	
固定資産売却代金	339	—	△339	固定資産売却代金の減
長期貸付金償還金	500,000	—	△500,000	一般会計貸付金償還金の減
資本的支出	—	—	—	
資本的収支差	500,339	—	△500,339	

※平成29年度予算額は1号補正後予算額

(2) 債務負担行為

(単位：千円)

事項	期間	限度額
RDF焼却・発電施設定期点検整備業務に係る契約	H30～H31	954,000

(3) 主な重点項目

三重ごみ固形燃料発電所の安全・安定運転 予算額 2,351,209千円

- ・RDF焼却・発電施設運転等管理業務委託
- ・RDF焼却・発電施設定期点検整備業務 他

Ⅱ 平成29年度2月補正予算について

今回の補正予算は、給与関係条例案に基づく給与改定により、企業庁職員の給与費を増額するものです。

(単位：千円)

		補正前の額	補正額	補正後の予算額
水道事業会計 【議案第5号】	収益的支出	9,190,649	4,769	9,195,418
	資本的支出	6,300,070	-	6,300,070
	小計	15,490,719	4,769	15,495,488
工業用水道事業会計 【議案第6号】	収益的支出	5,626,807	2,839	5,629,646
	資本的支出	6,578,163	304	6,578,467
	小計	12,204,970	3,143	12,208,113
電気事業会計 【議案第7号】	収益的支出	2,337,639	973	2,338,612
	資本的支出	420	-	420
	小計	2,338,059	973	2,339,032
合 計		30,033,748	8,885	30,042,633

Ⅲ 平成29年度最終補正予算について

1 水道事業会計【議案第93号関係】

(単位：千円)

		補正前の額	補正額	補正後の予算額	補正項目	
収益的 収支	収入	9,583,902	△ 2,527	9,581,375	その他営業収益	2,502
					受取利息	△ 116
					他会計補助金	2,670
					長期前受金戻入	△ 7,641
					雑収益	58
	支出	9,195,418	19,338	9,214,756	原水及び浄水費	△ 52,328
					配水費	△ 24,891
					業務費	△ 2,957
					総係費	△ 5,741
					減価償却費	△ 1,976
資産減耗費					△ 9,563	
支払利息及び企業債取扱諸費					△ 206	
消費税及び地方消費税	117,000					
収益的収支差	388,484	△ 21,865	366,619			
純損益 (税抜き)	127,788	87,280	215,068			
資本的 収支	収入	1,030,312	△ 22,494	1,007,818	他会計補助金	△ 11,584
					他会計出資金	△ 11,308
					工事補償費	398
	支出	6,300,070	△ 270,858	6,029,212	業務設備及び改良費	△ 12,026
					北勢水道改良費	△ 89,052
					中勢水道改良費	△ 80,490
					南勢水道改良費	△ 89,290
資本的収支差	△ 5,269,758	248,364	△ 5,021,394			

【収益的収支】

(収 入) △2, 527千円

収入についての補正は2, 527千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○他会計補助金 2, 670千円
ダム管理費負担金の増額などによる増

○長期前受金戻入 △7, 641千円
除却対象資産が減少したことによる減

(支 出) 19, 338千円

支出についての補正は19, 338千円の増額となり、主な内容は以下のとおりです。

○原水及び浄水費 △52, 328千円
委託料や動力費などの減

○消費税及び地方消費税 117, 000千円
納税見込額の増

(純損益)

純損益については、収益的収入及び支出の補正により、215, 068千円の純利益になる見込みです。

【資本的収支】

(収 入) △22, 494千円

収入についての補正は22, 494千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○他会計補助金 △11, 584千円
補助対象事業費の減額などによる減

○他会計出資金 △11, 308千円
出資対象事業費の減額による減

(支 出) △270, 858千円

支出についての補正は270, 858千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○北勢水道改良費 △89, 052千円
内径 200 耗送水管布設替工事などの計画変更等による減

○南勢水道改良費 △89, 290千円
ゴム可とう管補強工事などの計画変更等による減

2 工業用水道事業会計【議案第94号関係】

(単位：千円)

		補正前の額	補正額	補正後の予算額	補正項目	
収益的収支	収入	6,081,277	△ 78,738	6,002,539	その他営業収益	△ 27,034
					受取利息	△ 45
					他会計補助金	40
					受託工事収益	△ 288
					長期前受金戻入	△ 51,411
	支出	5,629,646	△ 131,996	5,497,650	原水及び浄水費	△ 18,056
					配水費	△ 12,808
					業務費	657
					総係費	532
					減価償却費	△ 2,860
資産減耗費					△ 99,067	
支払利息及び企業債取扱諸費					△ 106	
受託工事費	△ 288					
収益的収支差	451,631	53,258	504,889			
純損益 (税抜き)	248,630	48,725	297,355			
資本的収支	収入	3,016,164	△ 700,000	2,316,164	企業債	△ 700,000
	支出	6,578,467	△ 714,706	5,863,761	業務設備及び改良費	△ 474
					北伊勢工業用水道改良費	△ 719,497
					松阪工業用水道改良費	△ 21,058
					中伊勢工業用水道改良費	4,862
					国庫補助金返還金	21,461
資本的収支差	△ 3,562,303	14,706	△ 3,547,597			

【収益的収支】

(収 入) △78,738千円

収入についての補正は78,738千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○その他営業収益 △27,034千円
工業用水道施設使用料などの減

○長期前受金戻入 △51,411千円
除却対象資産が減少したことによる減

(支 出) △131,996千円

支出についての補正は131,996千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○原水及び浄水費 △18,056千円
委託料や動力費などの減

○資産減耗費 △99,067千円
構造物撤去工事などの計画変更等による減

(純損益)

純損益については、収益的収入及び支出の補正により、297,355千円の純利益になる見込みです。

【資本的収支】

(収 入) △700,000千円

収入についての補正は700,000千円の減額となり、内容は以下のとおりです。

○企業債 △700,000千円
北伊勢工業用水道改良事業における起債対象事業費の減額による減

(支 出) △714,706千円

支出についての補正は714,706千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○北伊勢工業用水道改良費 △719,497千円
内径800 耗配水管布設工事などの計画変更等による減

3 電気事業会計【議案第95号関係】

(単位：千円)

		補正前の額	補正額	補正後の予算額	補正項目	
収益的 収支	収入	1,422,413	29,228	1,451,641	電力料	20,386
					その他営業収益	8,851
					受取利息	△ 9
	支出	2,338,612	△ 38,208	2,300,404	RDF発電費	△ 37,489
					一般管理費	△ 518
					支払利息及び企業債取扱諸費	△ 201
収益的収支差	△ 916,199	67,436	△ 848,763			
純損益 (税抜き)	△ 850,495	62,487	△ 788,008			
資本的 収支	収入	500,339	-	500,339		
	支出	420	-	420		
	資本的収支差	499,919	-	499,919		

【収益的収支】

(収 入) 29, 228千円

収入についての補正は29, 228千円の増額となり、主な内容は以下のとおりです。

○電力料 20, 386千円

売電実績・見込みによる電力料収入の増

○その他営業収益 8, 851千円

R D F 搬入量の実績・見込みによるR D F 処理委託料の増

(支 出) △38, 208千円

支出についての補正は38, 208千円の減額となり、主な内容は以下のとおりです。

○R D F 発電費 △37, 489千円

備用品費や燃料費などの減

(純損益)

純損益については、収益的収入及び支出の補正により、788, 008千円の純損失になる見込みです。

IV 「三重県工業用水道条例の一部を改正する条例案」 について

【議案第60号関係】

1 改正理由・内容

工業用水道事業の円滑な維持運営を図るため、工業用水の料金を改定する必要があることから、三重県工業用水道条例の一部を改正し、次表のとおり中伊勢工業用水道の料金を改定します。

料金改定案		現 行	改定額	差 額
中伊勢 工業用 水 道	基本料金	21.3	27.4	6.1
	使用料金	1.9	2.0	0.1
	超過料金	46.4	58.8	12.4

2 施行日

平成30年4月1日から施行します。

【参考】

1 料金の算定期間

現行の料金算定期間は、北伊勢、中伊勢及び松阪工業用水道の3事業とも、平成28年4月から平成33年3月までの5年間としており、次期の工業用水道料金（平成33年4月から平成38年3月まで）は平成32年度に見直すこととしています。

このため、今回の中伊勢工業用水道の料金算定期間は、平成30年4月から平成33年3月までの3年間としています。

2 北伊勢、松阪工業用水道の料金

北伊勢、松阪工業用水道については、今回、料金の改定を予定しておらず、現行料金は以下のとおりです。

	北伊勢	松阪
基本料金	14.5	14.9
使用料金	4.0	1.1
超過料金	37.0	32.0